

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 鬼頭茂成 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 岡村隆徳 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



奉仕を通じて
平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

第1372回例会

ロータリーを考ふる月間
平成24年7月5日(木)
於 名古屋東急ホテル
出席計算数 会員 63名
58名中50名出席
出席率86・21%
前々回出席率96・43%

例会プログラム

- ★新旧会長・幹事バツシ交換
- ★新入会員入会式
- ★誕生日のお祝い
- ★米山記念奨学生挨拶
- ★受入青少年交換学生挨拶
- ★卓話 会長・幹事所見

ロータリーソング

「君が代」「四つのテスト」

指揮者 前田 隆久
ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

米山記念奨学生 周 璋さん
受入青少年交換学生 ショジョーナ・グレイス・パスケルさん

ピクチャー

名古屋城北RC 太田 光将さん

ニコボックス

今日はよろしくお祈りします。
名古屋城北RC 太田 光将さん
これから1年間更に頑張ります。
皆様よろしくお祈り致します。

鬼頭 茂成
1年間よろしくお祈りします。
岡村 隆徳
本日より入会します。宜しくお祈りします。
白戸 泉
鬼頭さん、岡村さん、所見がんばってください。
川畑 博敬
鬼頭会長岡村幹事、新年度スタート!! 頑張ります。

浅野 彰・田崎 雅三
浅井 隆宣・内藤 明
岡部 快圓・松本 哲朗
酒井 修・伊藤 与則
鬼頭さん、岡村さん、頑張ってください。
前田 隆久・渡辺 観永
いよいよ鬼頭丸の出航です。皆さんで盛り上げましょう。

吉田 隆彦
鬼頭会長、岡村幹事の船出を祝つて。
柴岡 正将
鬼頭会長、岡村幹事、1年間楽しんで下さい。
神田 憲
太田光将さんいらっしやいませ。
白戸泉さんおめでとうございます。
これからもお祈りします。

宇野 史仁
白戸泉さん、入会おめでとうござい
ます。太田さん、本日は楽しんで
いて下さい。林 順治
今期もよろしくお祈りします。
横井 衛・堀江 英弥
今年度もよろしくお祈りします。
杉浦 令淑
今年もよろしくお祈りします。
木村 光徳

SAAを拝命致しました。1年間
宜しくお祈りします。春日井和良
親睦活動、本年度よろしくお祈り
します。 日比野富士男
全出席のお祝品、有難く拝受しま
した。 小野 定男
妻の誕生日です。 石黒 正城
次女が結婚しましたー岡部 快圓
今年度もweeklyをよろしくお祈
りします。 新旧広報委員会

会長挨拶

会長 鬼頭 茂成

新旧会長・幹事バツシ交換



川畑博敬敬直前会長、田崎雅三元幹事、
11-12年度おつかれさまでした。

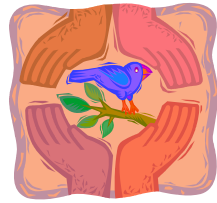
会長所見

会長 鬼頭 茂成

みなさんこんにちは。今年伝統
ある名古屋大須ロータリークラブ
の会長を務めさせていただく鬼頭
茂成です。会長皆様のご協力を仰



大きな和を築こうとして頂きます。
私は2001年に尾上昇さんの
紹介で入会させて頂きました。入
会に際してのオリエンテーション
は神田憲さんから受けました。そ
の時にニコボックスの原稿につい
て、神田さんから指導を受けまし
た。私は「尾上さんの紹介で入会
しました鬼頭です。よろしくお祈
りします」と書いたのですが、神
田さんから「入会させて頂くこと
になりました鬼頭です」と書きな
さいと言われ、これは大変なこと
ろに入会させていたのだと身
が引き締まったのを今でも記憶し
ています。このように先輩の会員
の皆様は、このクラブに対して、
大変高いプライドを持たれ、また
そのように奉仕活動をされ、会の
運営をされていたと拝察をさせて
いただきました。これからの1年
をそのような先輩諸氏におしかり
を被らないよう奉仕活動をしなが
ら舵取りをしていきたいと考えて
います。
今年度の名古屋大須ロータリー
クラブの運営方針について述べさ
せていただきます。私は今年度の



会長方針を「和」としました。これは、クラブの和を意味するものですが、自身の心の和、家庭の和、社会の和、世界の和を作り上げることを大事にしようという事です。日本語では、和は輪と同音で、大きなロータリーの和を掲げることにしました。クラブの奉仕活動は和の心を持って取り組んでいただきたいと思えます。

去る3月18日に岡村幹事と共にP.E.T.S.に出陣しました。その席で今年度の千田ガバナーから田中作次R-会長のテーマと強調事項を伺いました。今年度は日本から出たR-会長という事で我々日本のロータリークラブにとっては大変誇らしい年度です。我々の奉仕活動もそれらを踏まえて行っていくと思えます。R-テーマは「奉仕を通じて平和を」です。そしてR-会長強調事項は以下の通りです。

- ロータリークラブと地区JCIとの
- 1. クラブや地区の平和フォーラムを開催することを
- 2. 地域平和フォーラムを開催する
- 3. 国際女子クラブによる協力関係を
- 4. ロータリー平和フェローを推薦する

5. 紛争の根底にある原因に取り組む奉仕プロジェクトを支援する

田中作次R-会長の原稿を読みますと、その心がよく分かります。文の中には仏教の精神が感じられます。記念すべき日本人のR-会長の年度です。我がクラブも奉仕活動で盛り上げていきたいと思えます。

今年度の名古屋大須ロータリークラブの方針も「和」です。我々の活動はそのままR-のテーマに沿った活動となります。そこで今年度の奉仕活動をハワイで行うことに致しました。ハワイジャパニーズセンターで社会奉仕活動、ホノルルで会員の丹下さんの経営する施設での職業奉仕活動、さらにワイキキロータリークラブとの交流という国際奉仕活動として行います。詳細については幹事から報告して頂きます。クラブフォーラムで内容をつめたいと思えます。

P.E.T.S.で、千田ガバナーから地区のテーマと重点項目が示されました。

Touch The Rotary

- ・ 重点項目
- ・ 会員増強
- ・ 東日本大震災 被災高校生支援
- ・ 地区内交流の活性化

・ オンツリーレスポンス

重点項目に関しては、**会員増強**を5人とさせて頂いていただきました。川口会員組織委員長にお願ひしました。

東日本大震災被災高校生支援は、平成25年4月に高校入学する2520地区(宮城、岩手県)の生徒30人に毎月3万円の奨学金を3年間支給すると言っています。60人規模のクラブで1名の支援をしようとするの要請で、当クラブは1名の支援となります。複数年度にわたる活動ですので、木村光徳会長エレクトにも同意して頂き、その次の方にも引き継いで参ります。今年度は会費請求時にこの支援金を請求させて頂きます。また、支援する高校生が決まりましたら、他の交流も視野に入れて支援をしようと考えています。

地区内交流の活性化に関しては、西名古屋分区分は東三河分区分との交流となり、我がクラブは渥美ロータリークラブとの交流と決まりました。年度内に双方で訪問をすることになります。渥美ロータリークラブの川口会長、朽名幹事と打ち合わせをして、当クラブの節分例会に参加して頂く予定です。また、当クラブからは3月2日(土)渥美クラブの「免々田川菜の花、桜まつり」に参加する計画です。

オンツリーレスポンスについては、2013年6月23日、26日の日程でポルトガルのレスポンスにて開催されますR-国際大会へ、地区から50名の参加を希望されました。皆さんもこれを機会にレスポンスに行かれてはどうでしょうか?一人でも多くの参加を期待しています。

更に加えて、「四つのテスト、綱領を唱和して下さい。」とのことでした。これを受けて、当クラブでは毎月の第1例会で「君が代」とともに「四つのテスト」を歌うことにしました。さらにスローガンの「Touch the Rotary ふれあい、思いやり、そして握手」を実践するべく、誕生日、結婚記念日のお祝いを握手でしようと思えます。また、ピクニックには親睦委員会の皆さんで、握手で出迎えて頂きますようお願い致します。

田中作次R-会長、千田毅ガバナーのテーマ等に関しては以上の活動で対応していく予定です。さらに深い内容については、ガバナー訪問、ガバナー補佐訪問の際に伝達・ご指導があると思えます。

クラブの奉仕活動については各委員会の委員長が奉仕活動を計画されています。クラブ計画書も間もなく出来上がりますのでご確認下さい。

今年度はハワイで奉仕活動を行います。これは、クラブ奉仕、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕の委員会からんだ活動となります。

会員の多数の参加を得て例会変更を臨みたいと思えます。

来年の5月9日には東日本大震災チャリティコンサート2013を今年と同じ市民会館で開催いたします。チャリティコンサート2012は6合唱団が参加して83万6,630円の募金が集まりました。今年度も例会変更して支援参加します。

ウィークリーについては述べさせて頂きます。当クラブは伝統的にクラブ計画書を作成して、その中に前年度の決算のみを記録として残しています。その他の奉仕活動などは、個々の記録、報告のみで、年間の活動報告書というものは作成していません。その理由で、ウィークリーは活動記録、報告としての重要なものであります。各委員会は、活動報告をウィークリーに報告して頂くようにお願いいたします。最後に冊子として残したいと思えます。

以上、今年度の活動について述べさせて頂きました。

ロータリークラブは会員が学んで奉仕をすると言われています。皆さんの活動がクラブの価値となります。私は名古屋大須ロータリークラブがこの2700地区では1番のクラブではないかと思っています。その理由は、まずメンバーです。これほど奉仕の精神を理解して実践しているクラブが他に

あるでしょうか。皆さんの奉仕と協力を頂いてさらに大須ローターリーが皆様にとって楽しい意義ある会になっていきたいと思っております。

幹事所見

幹事 岡村 隆徳



今年度クラブ幹事を務めさせていただきます。岡村です。

名古屋大須ローターリークラブ入会後まだ9年目でローターリー知識経験ともに不足しており、現在の心境としては不安と高揚感が交错しております。しかし自己研鑽のよい機会と考え1年間大いに学んで行きたいと思っております。

今年度鬼頭会長は方針として“大きな和を築こう”を掲げられました。

私なりの解釈もありますがこの和という意味合いは非常に多岐にわたる深いものでこの時期に重要なキーワードと考えています。

かつてある経済紙が企業の平均年齢を試算したところ創業から30年目が一つの節目になると算出さ

れ企業30年説なるものがさざやかれましたがローターリーも企業と同じであれば大きな転機に差し掛かっているかもしれないですね。

大きな和の意味として3つの大きな方針と理解しました。

一つ目はクラブ内での調和、二つ目は歴史と時代変化の融合、最後に日本の心と和の精神を持った国際活動です。

一つの目的に向かって、クラブの皆が心を合わせて考えよう、一人では思いもつかないような発想が、次々に湧き出てくると思えます。何かの計画を実行するときに互いを信じて取り組んでいる、初めは不可能かと思えたような課題でも、信じられないほどうまく解決できてしまつたのです。調和は集団を一体化し、単なる要素の総和を越えた、創造力を生み出すと考えます。以前のI.M.ではその経験をさせていただきました。

この和の心、すなわち「心を合わせて考える」とこそ最も重要なテーマです。



今年度は30周年記念事業の準備大詰めの前でありこの和が大変重要な年になると考えます。

名古屋大須ローターリークラブの歴史を共有することも重要なテーマ

と考えています。昨年度も未来ビジョン委員会の皆様からの卓話は大変新鮮でわがクラブの歴史の重みを感じました。

また、先日事務局のキャビネットを確認して設立以来の記録が保管されていることを初めて知りました。おびただしい数の写真、ビデオ、カセットテープに収録されたすべての例会記録がそこにありました。一部はデジタル化されたメディアもありましたが大半は磁気記録やプリントで、すでに劣化も始まっているようです。広報委員会の皆さんとも協議しましたが30周年の節目の準備の前の大きな課題で今年度どこから始めるか思案中です。

若き日の尾上さんや浅野さん、吉田隆彦さんの会長挨拶や川畑さんが感動した横内さんの宇野千代さんの逸話などが大切に保管されています。委員会を問わず会員皆さんと共に、特に若手会員を中心にこの資料をデジタル化推進ならびにインターネット活用してみたいと思います。何せ膨大な量です。会員の皆様の協力をお願いします。

今年度R-1では広報でのソーシャルメディアの活用を強く推進しております。当クラブでも昨年度田崎幹事が「facebook」活用を提唱され検討が始まりました。今年度は実施試行年度とし広報委員の林富徳さんをリーダーとして試験的

ページ開設を始めています。近々「facebook」勉強会、および中間検討会を開催する予定です。すでにクラブ内外の皆さんから良い反響をいただいていますので早急に運営ガイドラインを策定いたします。

ソーシャルメディアの活用はローターリークラブでますます盛んになっています。R-1ではグローバル補助金に關した質疑応答は「フェイスブック」で活発に展開されています。長女が青少年交換候補生としてこの夏からお世話になりますが受け入れ地区の委員長の方とはSkype、面接、地区委員、受け入れクラブ、他の派遣候補生ともFacebook内で情報交流をしています。

昨年度からグローバル補助金を活用したタイでの奉仕活動計画や今年度実施予定のハワイ例会などグローバル環境で名古屋大須ローターリークラブの友好を深める活動が実践されますが、このようなメディアは皆さん全員で素晴らしい体験を身近に日本に居ながら共有できる手段になります。

今年度のR-1田中作治会長は29年ぶりのR-1会長日本人就任の年です。名古屋大須ローターリークラブも29年度です。鬼頭会長が掲げられたテーマとR-1テーマも和の心で共通性があります。また田中会長が推進されている世界平和フォーラムの開催地はハワイ、

ベルリン、広島です。この経緯は詳しくは知りませんが先の大戦の敗戦国である日本人の会長がこれを提唱された高潔さには尊敬の念を禁じ得ません。わがクラブもこの秋、平和フォーラム開催地のホルルに友好と奉仕のために訪問します。日系人社会の奉仕活動を通じ、ここから日本人としての世界とさらに関わるグローバル時代へ何かのヒントが見いだせるかもしれません。

名古屋大須ローターリークラブが誇りを持ち広い視野で世界との真なる交流を図る良い機会と信じております。

最後に田中作治R-1会長は「ストーリーの持つ力」と題したメッセージの中でこう述べています。「ローターリアンそれぞれがこれまでのローターリー人生の中で心に残る特別な体験をしているはず。これをローターリー・モーメントと呼ぶ方もいます。重要なことはこのローターリー・モーメントをほかの人々に伝えることです。数字や事実を伝えるだけでは限界がありますが個人の体験を語れば新しい機会が開け、友人を作ることが出来ます。」

今年度が皆様にとって私にとってローターリー人生の中で心に残る特別な体験になること信じ精一杯務めさせていただきます。皆様、一年間ご支援ご指導のほどよろし

くお願いいたします。
「清聴ありがとうございます」

新入会員挨拶

白戸 泉

SHIRATO IZUMI



このたび、伝統と歴史のある名古屋大須ロータリークラブに入会させて頂いたことになりました。白戸泉です。みなさんどうぞ宜しくお願いいたします。

私自身名古屋で生まれ育ち二十歳までは名古屋に居りましたが現在の40になるまでの20年のうち半分以上を前職にて台湾、中国を中心とした、その他アジア諸国との車用品の開発、店舗出店の仕事に費やしてきました。

中国特別経済区新設直後の中国反日感情も中国、新型ウィルスサーズでパニックに陥った中国など過去15年間の中での大きな事件の時にはその中で生活し体験してきました。前職での仕事の方が長く、現在の父の経営する海部架設工業はまだ2年しか経っておりません。このような経験が会社にもこのロータリークラブにもどのような活かしていったらよいか未だ解りませんが、なにぶん未熟な若輩で到らぬ点も多々あると思っております。

皆様方のご指導を仰ぐばかりだと存じまわすので何卒よろしくお願いいし申し上げます。

先ずは「ここ」から毎週欠かさず出席することを実行しロータリークラブに慣れていきたいと思っております。

宜しくお願い申し上げます

委員会 / 親睦洋活動委員会

入会 / 2012年7月5日
生年月日 / S45年12月10日

職業分類 /

鉄骨工事請負業

BUILDING INDUSTRY

事業所 /

株式会社海部架設工業

取締役営業部長

T4506-0050

名古屋熱田区

南一番町20-9

米山記念奨学生挨拶

周 璋さん



こんにちは、米山奨学生の周璋です。最近の勉強のほうも順調に進んでいるし、生活にも大きな出来事がないので、一つ、ふと思っただことについて話します。

この間、ネパールで旅行している親友からポストカードが届きました。裏面にはネパールの首都にあるモンキー寺の写真が載せてあり、裏面では、彼女がネパールでボランティアした時の感想、旅行の心得が書いてありました。とても小さい一枚のポストカードですが、彼女の字や写真、切手から伝わるものがすごくインパクトがあります。それを見て、私は現代コミュニケーションの手段について考えました。

今は、情報テクノロジーが高度に発展している社会になってきています。インターネットや、近年ではスマートフォンの普及によって、誰でもすぐに世界から情報を手に入れ、自ら世界へと発信できるようになりました。周りをみると、常に携帯を手にし、チャットアプリでメッセージを送ったり、SNSサイトで友達の情報をチェ

ックしたりしている人がたくさんいます。私も、スカイプで国の両親と顔合わせながらビデオ通話をしています。このような大変便利な社会ですが、最近では何か違和感を感じるようになりました。

確かに、コミュニケーション手段は便利になったが、人と人の交流の深みは昔ほど深くなくなった気がします。手書きがタイピングに、紙が電子メールに、また、遠方の友達から手紙を待つドキドキ感が、すぐにもパソコンを開いてメールが送れる容易さ変わった結果、人と人のコミュニケーションの質が落ちたのではないかと感じます。字が伝えるものは、その人がその当時の気持ちや状況、表情や身ぶりまで含まれているもので、また、手紙が海を渡って郵便局に着きポストマンの手から届く時に、文字以上のメッセージが含まれているはず。その価値は電子の物を通じたものに比べて何倍もあるのだと思います。

このように、私は、今大変便利な情報化社会にながら、昔のような単純なコミュニケーション手段が懐かしいなど、ふと思っただことでした。

受入青少年交換学生挨拶

シヨシーナ・

グレイス・バスケルさん

(次号以降に掲載致します。)

ホストファミリー報告

大原 敏正
渡辺 観永



6月27日
名城小学校
にお伺いしました。ニュージーランドの説明や英語授業のお手伝いなど6年生と一緒に楽しいひとときを過ごしました。



7月19日(木)例会の案内

委員長所見

国際奉仕委員長

吉田 憲一さん

R財団米山奨学生委員長

山口 正孝さん

30周年準備委員長

堀江 英弥さん

広報委員会

近藤宏一郎・林 富徳

杉浦 令淑・青木 靖高

*本文は、原則 頂いた

原稿を転載しています。